

編集後記

本号は史学科で長年教鞭を取られた河野房男教授（現在非常勤）の労をねぎらうべく、先生の退任記念号として企画しましたところ、かくも多数の方々よりの御寄稿があり、大変内容の充実したものとなりました。編集者として、誠に感謝に堪えない次第です。

河野先生は、当誌にはほぼ毎回御投稿されるとともに、昨年、これまでの御研究の集大成ともいべき著『平安末期政治史研究』を公にされておりますが、その真摯で精力的な研究態度には敬服させられるばかりです。これからの先生の尚一層の御精進と御健康をお祈り致します。

ところで、本誌もすでに第十一号を数えるまでになりました。これもひとえに会員諸氏の御協力の賜物ですが、今後ますます質の向上をめざしたいと思っておりますので、広く外部の方々にも御寄稿を呼びかけてゆく所存です。さらに、次号より紙面のバラエティー化を図るために、従来の論説や書評に加えて、学界動向や新刊紹介等もどしどし載せるつもりにしております。乞、御期待。乞、御投稿。